

広島大学マスターズ主催講演会
『世界の半導体の市場の動向と
マイクロメモリジャパンについて』

概要：コロナ禍において半導体デバイス不足が産業・社会に様々な影響を与えました。更には最近のAIに代表されるデジタル社会の加速度的な進化により、半導体デバイスが世界経済から人々の生活に至るあらゆる領域で必要不可欠で今後ますます重要になることが改めて再認識されています。本講演では世界の半導体市場の現状と将来について私の会社生活の経験を通して簡単に説明し、その半導体市場の中でマイクロメモリジャパンがどのような会社でどのような役割を担っているのかについてご紹介したいと思います。

講師：秋山 裕明 氏（マイクロメモリジャパンディレクター）



講師のご紹介：

香川県観音寺市生まれ。広島大学卒業後、日本電気に入社し半導体、特に半導体記憶素子の一つであるDRAM（Dynamic Random Access Memory）のプロセス開発を担当し以降、日本電気、ELPIDAメモリ、マイクロメモリジャパンと会社は変わるも42年間一貫してDRAMの開発・製造に従事してこられました。

司会：上 真一（広島大学名誉教授・広大マスターズ代表幹事）

日時：2025年9月13日（土）13:30～15:00、開場 13:15

（1時間講演、30分質疑応答）

場所：広島大学フェニックス国際センターミライクリエ多目的
スペース（東広島市鏡山1丁目4 大学会館前バス停前）

入場無料：どなたでも参加できます。事前申し込み不要
（定員 60 人・先着順）

主催：広島大学マスターズ

後援：広島大学スマートシティ共創コンソーシアム

（問）広島大学マスターズ（上 真一）

電話 090-7541-0701 メール: suye@hiroshima-u.ac.jp